



20世紀の映像百科事典

エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ

を見る

連続上映会

3

かご編み

上映プログラム

コファン族(南コロンビア モンターニャ) マニオクの圧搾カゴ“ティピティ”編み/06'00"/1970年

コファン族(南コロンビア モンターニャ) マニオクの晒し/07'00"/1970年

カラジャ族(ブラジル アラグアイア地方) 大きなむしろ編み/12'00"/1960年

アカ族(タイ チェン・ライ県) 蓋つきの籠編み/16'30"/1965年

クラホ族(ブラジルトカンティンス地方) 手さげかご編み/06'00"/1969年

クラホ族(ブラジルトカンティンス地方) ヤシの葉の玩具づくり/10'00"/1965年

アルファコ族(コロンビア シェラ・ネヴァダ・デ・サンタ・マルタ) 竜舌蘭繊維の糸づくりと紐づくり/08'30"/1969年

リマイベ族(西アフリカ オートボルタ) ドーム家屋の建築/09'00"/1962年

民族名、撮影地名には、現在では用いられない名称がございますが、製作当時の表記を尊重しました。

ゲスト

本間一恵

バスケットリー作家

中川重年

京都学園大学教授

2013.3.22



18:30開場/19:00開演

会場:Space&Cafeポレポレ坐

予約:03-3227-1405 event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムス社)

料金:予約1,000円/当日1,500円(+要ワンドリンクオーダー)

かつて壮大な映像百科をつくらうと夢見た人々がいた。

本上映会シリーズは、20世紀を代表するこの壮大な映像アーカイブを

今に生きる私たちの目線で読み直し、虫干しして、

多彩な分野の人々との対話を通して新しい息吹をふき込む試みである。

これらの映像の中に、私達の未来に必要な宝物を見つけられるかもしれない。

エンサイクロペディア (EC) シネマトグラフィカとは?

1951年、ドイツ 国立科学映画研究所で、科学映像をめぐる一大計画が始まった。「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」(EC)と題するこのプロジェクトは、世界中の知の記録の集積をめざした映像による百科事典。以後30年近くの歳月を費やして数多くの研究者・カメラマンが世界各地に赴き、現在は失われた暮らしの技法や儀礼などの貴重な記録を含む、2000タイトル強の映像アーカイブが制作された。ECはさらに各国機関に渡り、日本でも1970年より下中記念財団によって、アジアで唯一のフルセットの映像が管理・運用されている。だが21世紀現在、本家ドイツのECプロジェクトは解散、日本でも16mmフィルムという記録媒体が障壁となり上映機会はほぼ途絶えていた。

本上映にあたり

短編映像のモザイクの海からさがす宝物

「食べる」「寝る」「子を産む」…さまざまな行動をテーマに、チンパンジーに爬虫類、微生物から人間までを記録した生物学シリーズ。民族学分野では「バン作り」だけで世界40地域のタイトルが並ぶ。

提唱者G.ウォルフは、演出や解説、BGMを徹底的に避けて比較を可能にする体系的な映像モザイクを目指し、ECは20世紀の民族誌映画のひとつの型を作ったとも言われる。動物行動学の父コンラート・ローレンツ、EC愛好者から制作者に転身した元テレビ修理工マンフレッド・クルーガーなど、多彩な才能が結集して培われた映像制作の手法は後に各国に伝授され、そこから山形国際ドキュメンタリー映画祭等でも活躍する映画監督が育ちつつあるという。

ケータイの動画撮影、Youtube映像……あらゆる断片映像の波に溺れる私たちの日常。こんな時代だからこそ、映像記録の原点ともいえるこの映像の百科事典が、新たな輝きを放つに違いない。今まさに、「客観」や「科学」の括りからECアーカイブを解き放ち、魅惑の標本箱の宝探しにくり出そう。

連続上映会 ③ かご編み

ECフィルムには「かご」の作り方を記録した映像が23。地域も形も用途も実にさまざまです。加えて、生活の道具として「かご」が使われる場面を記録しているものを含めれば数は知れず。バスケットリー作家の本間一恵さんは自ら「作る人」の視点で多くのECフィルムを視聴し研究や制作に役立ててきました。第3回は彼女のコレクションである美しく不思議で面白い世界各地の実物の「かご」も見せていただきながらの上映会です。世界を股にかけ里山利用の研究と実践をしてきた中川重年さんには、材料となる植物や「かご」をめぐる暮らしについても聞いてみたい。見るほどに、知るほどに頭の中には「かご」とはなにかな?という疑問符が増殖し、身の回りのあらゆるものが「かご」に見えてしまう病に。あなたもきくと…

ゲスト

本間一恵 ほんま かずえ

バスケットリー作家。1980年代はじめ、関島寿子の指導のもとに、新しい造形方法としてのかご(バスケットリー)に出会う。以後、伝統的なかごの作り方を学びつつ、現代バスケットリーの作品を制作し、個展、グループ展で発表。1989～バスケットリーニュース編集人。和光大学、京造造形美術大学通信部等でバスケットリーを講義。2005青谷上寺地遺跡、2011東名遺跡、2012三内丸山遺跡出土のかごを復元制作。著書「クラフトテープで作る」(日本ヴォーク社)。

中川重年 なかがわ しげとし

1946年広島市生まれ。京都学園大学バイオ環境学部教授。元神奈川県自然環境保全センター専門研究員、国立歴史民俗博物館客員教授。広葉樹の森林・樹木を中心とした環境デザイン、利用が専門。大都市の背後にある北摂の山々の雑木林がフィールド。根曲がり杉の間伐材でアルプホルンを制作したり、雑木林の手入れをビザ窯やバウムクーヘンで楽しむなど、森遊びの達人。著書は、森づくりテキストブック(山と溪谷社)、日本の樹木(小学館)、日本の山菜(小学館)、イネとスギ(岩波書店、共著)、検索入門針葉樹(保育社)。

上映プログラム

コファン族(南コロンビア モンターニャ) マニオクの圧搾カゴ「ティビティ」編み/06'00"/1970年

コファン族(南コロンビア モンターニャ) マニオクの晒し/07'00"/1970年

カラジャ族(ブラジル アラグアイア地方) 大きなむしろ編み/12'00"/1960年

アカ族(タイ チェン・ライ県) 蓋つきの籠編み/16'30"/1965年

クラホ族(ブラジル トカンティンス地方) 手さげかご編み/06'00"/1969年

クラホ族(ブラジル トカンティンス地方) ヤシの葉の玩具づくり/10'00"/1965年

アルファコ族(コロンビア シェラ・ネヴァダ・デ・サンタ・マルタ) 竜舌蘭繊維の糸づくりと紐づくり/08'30"/1969年

リマイベ族(西アフリカ オートボルタ) ドーム家屋の建築/09'00"/1962年

民族名、撮影地名には、現在では用いられない名称がございますが、製作当時の表記を尊重しました。

2013.3.22 金 18:30開場/19:00開演

会場:Space&Cafeポレポレ座 東京都中野区東中野4-4-1ポレポレ座ビル1階

予約:03-3227-1405 event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムズ社) 料金:予約1,000円/当日1,500円(+要ワンドリンクオーダー)

■共催:公益財団法人 下中記念財団(平凡社の創立者下中弥三郎を記念し、教育・出版に関する助成を実施)、ポレポレタイムズ社

■企画:第1回EC上映班(暮らしの自由研究室)、丹羽朋子(FENICS)、ポレポレタイムズ社 ■協力:川瀬康(国立民族学博物館)、岡田一男(東京シネマ新社)

■ドイツ語翻訳:コールハーゼ麗、星川真樹 ■クラフティックデザイン:大橋祐介